

違法伐採対策推進国際セミナー2007in 東京 -日本の木材調達政策に対する世界の対応- 発表資料作成ガイドライン

合法太郎¹、持続可能花子²

¹ (社) 全国木材組合連合会, 東京都千代田区永田町 2-4-3, 永田町ビル 6F、100-0014

² 違法伐採総合対策協議会, 同上

違法伐採対策推進国際セミナー2007in 東京の発表資料の全文は小冊子の形でまとめられる。以下のガイドラインを厳密に従って頂きたい。このガイドラインは発表資料と同じフォーマットで作成されているので、発表資料の例として使用することができる。不明な点は以下のセミナー事務局に連絡されたい。goho-wood@convention.co.jp

キーワード: 違法伐採, 木材製品, 発表資料, 用紙サイズ

スタイルと様式

要約は所属の最終行から 10 ミリ下から開始する。要約は 200 字以内とする。

総論

発表資料は A4 用紙 r (210 mm x 297 mm)、を使用し、本稿と同様の最小の改行間隔とする。本文は明朝、タイトルはゴシック太字とする。

キーワード 10.5 ポイントのフォントで要約の下中央に配置する。報告書本文はキーワードの下 10 ミリから開始する。

見出し

本稿と同様に、2 段組とし、各段の幅は 80 ミリ、段間には 10 ミリ (全体で 80 ミリ) の空白をおく。(総計 170 ミリ) 下マージンは 30 ミリ、左右マージンは 20 ミリ。タイトルページのみ上マージンは 30 ミリ、その他のページは上マージン 20 ミリとする。

小見出し

主たる見出しは、段の中央ゴシック太字とする。小見出しはコラムの左マージンから始める。見出し、小見出しに前後には一行空白行をおく。

発表資料の長さ制限

全ての報告書は 4 ページを上限とする (図表込み)。Pdf ファイルサイズは 550kb を上限とする。

数式

数式は一貫した数式番号を付し、括弧書きの数式番号を同一行の右側の余白に記載する。可能なら数式エディタを利用されたい。

発表資料の提出

電子データとしての報告書を 1 月 31 日までにセミナー事務局まで電子メールの添付ファイルで提出する

$$E = mc^2 \quad (1)$$

数式の前後に空白行を挿入する。

参考文献

表題

表題は 12 ポイントのフォントで両段の中央に配置する。その下に、著者の名前、所属は 10.5 ポイントのフォント、でセンタリング。

参考文献は番号を付して資料の最後に記載する。文章の中では[1]のように記載する。雑誌や文献のタイトルはイタリックで記載する。イタリックが使えない場合は太字とする。文献の間には空白行を挿入する。参考文献の巻数は太字とする。

要約とキーワード

イラスト、画像

図表

手書きの図表は使用しない。カラーの図表は可能だが、印刷される場合多くが白黒であることを念頭におかれない。背景の濃いものをさけ、多様な線種を利用するなど、白黒印刷で明解にわかるようにされたい。

図表はアラビア数字を用いて明示し、テキスト内に配置する。図と表は1段ないし2段の幅としてタイトルと注を付ける。

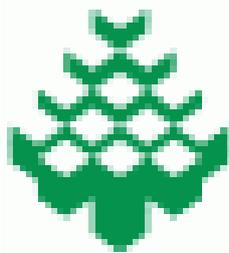


図. 1. 木材産業のシンボル

表 1. 大都市の緯度.

	東京	ニュー ヨーク	パリ	シンガポ ール
緯度 (度.)	35.69	40.78	48.73	1.37

作表には可能であればテーブルエディタかタブを利用する。コラムを作成するのにスペースを使用しないこと。ページに収まらない表は複数ページにかけて掲載する。

著作権

筆者はセミナー期間中に著作権譲渡のための文書に署名されたい。何らかの疑義がある場合は事後の紛争を回避するため、連絡されたい。政府・国際機関の職員で著作権譲渡が困難な場合は譲渡契約書の所定欄に記載されたい。

おわりに

提出後のペーパーの訂正

提出後の資料訂正は困難なので、十分に推敲した後に提出されたい。

参考文献

[1] 全国木材組合連合会, “合法木材証明のためのガイドライン”, *全木連時報*. **83**, 2002, pp.234-238.

[2] D. Hadni and A. Yamada, “Relationship between - - - - -”, *Proceedings of 8th international Conference on - - - - -*, 2001, pp. 1552-1562.